

令和4年度 阪南大学高等学校 学校評価

1 めざす学校像

<p>【建学の精神】</p> <p>「学びの友よ 才能は神よりの業 究むるは君が使命」の建学の精神と「誠実 努力 思考」の校訓を指針とし、教育基本法に定められた高等学校の教育目標に従い、心身ともに健全にして理想高く、自ら行う実行力を持ち広く世人から信頼される人格を形成し、もって社会に貢献しうる人間を育成する。</p> <p>【教育目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 基礎学力の充実</li> <li>2 基本的生活習慣の形成</li> <li>3 主体的活動による個人の能力の発展的育成</li> <li>4 阪南大学との一貫教育の推進</li> <li>5 進路指導の徹底</li> </ol>
--

2 中期的目標

<p>1 学習指導・進路指導</p> <p>(1) 生徒が主体的に学習する意欲を引き出す授業の研究と推進</p> <p>(2) 生徒の自発的な進路選択の奨励と支援</p> <p>2 生徒指導・人権指導・保健指導</p> <p>(1) 校則の厳守</p> <p>(2) いじめの防止</p> <p>(3) 基本的生活習慣、社会的マナー及び保健衛生習慣の確立</p> <p>3 行事・クラブ活動</p> <p>(1) 学校行事やクラブ活動への積極的な参加の啓蒙</p> <p>4 学校運営・施設</p> <p>(1) 学校施設設備の充実</p>
--

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 【生徒・保護者・教職員：令和5年1月実施】	学校評価委員会からの意見
<p>■重要度・満足度ともに高い設問 ( )内は2軸評価(生徒/教職員/保護者)、満足度(生徒/保護者/教職員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者懇談等を通じて、進路についての面談や指導を適切に行っている。(A/A/A)、(3.26/3.25/3.23)</li> <li>・他の人に知られたくない個人情報(プライバシー)を守っている。(A/A/A)、(3.32/3.29/3.29)</li> <li>・体罰の防止や生徒の人格が尊重されるように努めている。(A/A/A)、(3.15/3.18/3.30)</li> <li>・教育活動・クラブ活動のための施設・設備が充実し、美しく衛生的だ(A/A/A)、(3.33/3.44/3.58)</li> </ul> <p>■優先して取り組むべき課題 ( )内は2軸評価(生徒/保護者/教職員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この学校には、個々を認め、尊重しあえる雰囲気がある。(D/D/D)、(3.02/3.01/3.03)</li> <li>・この学校は、学校行事が充実している。(D/C/D)、(3.09/2.92/2.93)</li> </ul> <p>■満足度指数</p> <p>【生徒】( )内は満足度指数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○肯定的評価が顕著な主な項目</li> <li>・私は、学校の規則や社会の決まりをきちんと守っている。(3.45)</li> <li>・この学校は、クラブ活動が盛んである。(3.58)</li> <li>・この学校は、教育活動・クラブ活動のための施設設備が充実していて、美しく衛生的だ。(3.33)</li> <li>○否定的評価が顕著な主な項目</li> <li>・私は、この学校に入学して、放課後学習や家庭学習など授業時間以外での学習時間が増えている。(2.54)</li> <li>・私は、心身の健康(悩み)について担任の先生以外にも保健室等で気軽に相談できる。(2.78)</li> </ul> <p>【保護者】( )内は満足度指数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○肯定的評価が顕著な主な項目</li> <li>・この学校は、教育活動・クラブ活動のための施設設備が充実していて、美しく衛生的だ。(3.44)</li> <li>・この学校は、保護者懇談等を通じ、進路についての面談や指導を適切に行っている。(3.25)</li> <li>・この学校は、クラブ活動が盛んである。(3.49)</li> <li>○否定的評価が顕著な主な項目</li> <li>・子どもは、この学校に入学して、放課後学習や家庭学習など授業時間以外での学習時間が増えている。(2.42)</li> </ul>	<p>令和4年度よりWEB 回答によりアンケートを実施した。アンケート回収率については、生徒が93.7%(昨年度97.5%)、保護者69.4%(昨年度87.3%)であった。WEB 回答による一般的な回収率と比較した時、本校の回収率は非常に高いという評価であるが、保護者の回収率の向上に向け、引き続き、周知を進めたい。</p> <p>令和3年度までは各質問項目において「満足度」のみのアンケートであったが、令和4年度より各質問項目における「満足度+重要度」の2軸評価でアンケートを実施した。また、満足度指数については、令和3年度までと計算方式が異なるため、目標指数のめやすをこれまでの、「1.0」から「3.0」へ変更した。</p> <p>今回のアンケートにおいて、三者とも評価が高いのは、「適切な進路指導・面談」「個人情報の保護」「体罰防止・人格尊重」「施設・環境の充実」であった。これらは、三者が重視し、かつ十分な満足度を得られている要素であり、今後も維持・継続していきたい。一方で、優先すべき課題として、「個々を認め、尊重しあえる雰囲気」が挙げられる。満足度は目標指数の「3.0」は上回っているが、関心も高く、まだまだ課題が残る状況であるという分析結果が出ているので、今後は研修会やアセスメントを効果的に活用しながら、個々を認め、尊重しあえる校内雰囲気を高めていく必要がある。また、「学校行事の充実」についても、課題として挙げられる。令和4年度は、学校行事の規制も緩和され、ほとんどの行事を実施することができたが、それぞれの行事において、一定の規制がかかった状態であった。令和5年度からは、海外の修学旅行も含め、コロナ禍前と同様に実施はできるが、状況を見ながら生徒主導の行事を増やすなど、対策が必要である。</p> <p>満足度指数に着目すると、「クラブ活動が盛んである」ことが比較的高評価となっているが、クラブ加入率は50%超と低い状況である。新たなクラブを創設することには物理的な困難があるが、クラブの活動内容を工夫することで、まずは既存のクラブの加入率を上げる努力が必要である。</p>

<p>・この学校では、宿題や課題が適切に出される。(2.79)</p> <p>・この学校の行事は、充実していて生徒が積極的、主体的に様々な経験ができるように工夫されている。(2.92)</p> <p>【教職員】( )内は指数変化(今年度/昨年度/一昨年度)</p> <p>○肯定的評価が顕著な主な項目</p> <p>・この学校は、施設・設備が充実し、美しく衛生的だ。(3.58)</p> <p>・この学校は、クラブ活動が盛んである。(3.60)</p> <p>・この学校は学校ホームページ・SNSなどで情報公開している。(3.43)</p> <p>・この学校は、ICT(情報通信技術)を用いた授業改善に努めている。(3.38)</p> <p>○否定的評価が顕著な主な項目</p> <p>・この学校は、生徒が主体的に学び、家庭学習が増えるように努めている。(2.46)</p> <p>・この学校は、宿題や課題を適切に出すなどして、生徒の家庭学習の定着を図っている。(2.61)</p> <p>・この学校の生徒指導における規則・心得は、保護者や生徒に理解されている。(2.61)</p>	<p>「授業における ICT 活用」は令和4年度で全学年 iPad を持つことになった。iPad を用いた効果的な学習指導方法の研究・推進に取り組み、主体的に学習する意欲を引き出す授業を構築することを教員間で共有していくことが必要と考える。同時に、情報モラル教育についても、全学年統一のルールを踏まえ、情報端末の適切な活用について、これまで以上に啓発を行う必要がある。また、ICT を利用した学校運営については、三者とも積極的に行われているような印象を持っている。今後も引き続き、ICT を活用した校務の効率化を進めたい。</p> <p>満足度指数が三者とも低い項目として「家庭学習など授業以外での学習」である。令和 4 年度より自習室にチューターを配置し、わからないことをすぐに質問できる環境を整備した。教職員の意識を変え重要度を上げていくことや、iPad を用いた課題配信など、授業以外での学習の定着を図る工夫が必要である。</p> <p>生徒と教職員で満足度に差が大きいのが「規則・心得の理解」である。生徒と教職員間でマナー面での常識の違いによるものが大きいのではないかと考える。今後も規範意識を高める取り組みや、保護者との連携という観点から、新入生説明会、保護者会での校則の周知を図りたい。</p>
---	---

### 3 PDCA サイクルに基づく評価結果

中期的目標	Plan		Do	Check	Action
	重点的に取り組むことが必要な目標	評価指標	取り組み状況	達成状況	今後の改善方策
1 学習指導・進路指導	<p>(1) 生徒が主体的に学習する意欲を引き出す授業の研究と推進</p>	<p>■私は、この学校に入学して、放課後学習や家庭学習など授業時間以外での学習時間が増えている。(生徒)</p> <p>子どもは、この学校に入学して、放課後学習や家庭学習など授業時間以外での学習時間が増えている。(保護者)</p> <p>この学校は、宿題や課題を適切に出すなどして、生徒の放課後学習や家庭学習など授業時間以外での学習の定着を図っている。(教員)</p> <p>満足度目標指数 3.00 以上</p> <p>■この学校では、ICT(情報通信技術)を活用し、工夫された授業が行われている。(保護者・生徒)</p> <p>この学校は、ICT(情報通信技術)を用いた授業改善に努めている。(教員)</p> <p>満足度目標指数 3.00 以上</p>	<p>■放課後学習の充実のため、自習室に学生チューターを配置し、わからないことがあればすぐに質問できるような環境を整備した。考査前と考査中は各自の学習時間を担任に報告するようにして、学習時間の把握を教員ができるようにしている。</p> <p>■保護者負担による1人1台iPad導入の3年目であった。導入3年目にして、生徒全員がiPadを持っているという環境がようやく整ったこととなる。前年に引き続き、全教員にiPadを1台ずつ貸与し、授業の様々な場面でiPadを使えるよう、支援体制を整えた。授業支援アプリの使い方を、練習会を通して教員に伝え、自信を持って授業で使いこなせるよう支援した。さらに、科目の特性や多様な授業場面に応じた、iPadならではの学習指導方法について情報収集・共有を行い、iPadの利用推進につながるよう努めた。</p>	<p>■満足度指数 生徒 2.56 保護者 2.42 教職員 2.61</p> <p>■2軸評価 生徒 C 保護者 C 教職員 C</p> <p>■満足度指数 生徒 3.22 保護者 3.13 教職員 3.38</p> <p>■2軸評価 生徒 B 保護者 B 教職員 B</p>	<p>■2軸評価でも低い値が出ているので、まずは教職員の意識を変えて重要度を上げていく。放課後学習のためスタディールームの活用を再開し、学習環境の整備を行う。</p> <p>■全校生徒にiPadが行き渡り、「とりあえず使ってみよう」という状況から脱却し、もう一つ高い段階を目指すタイミングとなっている。効果的な使用方法の共有・研修会の開催、観点別評価への対応など、iPadを使った授業改善をさらに進めていきたい。</p>
	<p>(2) 生徒の自発的な進路選択の奨励と支援</p>	<p>■私は、この学校で行われる進路講話や進路学習などで与えられる情報を、自分自身の進路選択の参考にしていく。(生徒)</p> <p>この学校で行われている進路説明会は、生徒の進路選択に役立っている。(保護者)</p> <p>この学校で行われている進路講話や進路説明会は、生徒の進路選択に役立っている(教職員)</p> <p>満足度目標指数 3.00 以上</p>	<p>■4月に3年生総合進学コースの生徒向け進路講話と保護者対象進路説明会(進路指導部長より阪南大学特別推薦入試と指定校推薦入試について)、3年生文理特進コースの生徒向け進路講話と保護者対象進路説明会(河合塾講師より一般入試に向けて)、7月に2年生文理特進コースの生徒向け進路講話(近畿大学講師より受験生としての心構え)、9月に2年生文理特進コースの保護者向け進路説明会(河合塾講師より現役合格を勝ちとるために)、10月に2年生総合進学コースの生徒向け進路講話(阪南大学より大学進学について)、2年生総合進学コース保護者対象進路説明会(進路指導部長より阪南大学特別推薦入試と指定校推薦入試について)、11月に3年生の文理特進コースの生徒向けの説明会①(立命館大学より一般選抜について)、3年生の文理特進コースの生徒向けの説明会②(関西学院大学より一般選抜について)を実施。</p>	<p>■満足度指数 生徒 3.06 保護者 2.97 教職員 3.03</p> <p>■2軸評価 生徒 C 保護者 D 教職員 C</p>	<p>■保護者懇談等、個別での進路指導については、進路学習や進路情報の活用を重点目標に掲げ、先生方の適切な指導の甲斐あって高い満足度を得ることができた。</p> <p>進路学習についての生徒の満足度は高いので、保護者の認知度が低いことが課題である。</p> <p>進路説明会や進路講話については、特に、保護者の満足度が低い。今後、内容や開催方法について、検討していく必要がある。</p> <p>また、引き続き、過去の進路実績のデータを効率的に活用し、生徒の進路指導に役立てることができるよう、校内の進路情報システムの改善と進路情報の適切な公表に努めたい。</p>

			<p>総合的な探究の時間に、学問分野の研究、適性検査、資料請求などの進路学習を行い、マナビジョンやスタディサプリ for school などのアプリを活用した。</p> <p>12 月には 1, 2 年生の生徒向けに大学や専門学校の先生を呼んで、進路ガイダンス(職業・学問)を開催し、将来の進路について考えさせた。</p> <p>また、大学等オープンキャンパスへの参加を促すために、オープンキャンパス情報ファイルを 3 年生総合進学コースの各教室それぞれに配置し、保護者懇談会等で活用。</p> <p>外部模試を実施。さらに、3 年生の希望者向けに、関関同立模試を 2 回、看護系模試を 2 回実施。</p> <p>昼休みには、進路閲覧室に教員を配置し進路相談活動を充実させるよう努めた。</p>		
<p style="text-align: center;">2 生徒指導・人権健康教育</p>	<p>(1) 校則の厳守</p> <p>(2) いじめや差別をなくす。個人尊重の雰囲気高める。</p>	<p>■私は、学校の規則や社会の決まりをきちんと守っている。(在校生)</p> <p>この学校は、学校の規則や社会の決まりについて家庭との連携を適切に行っている。(保護者)</p> <p>この学校の生徒指導における規則・心得は、保護者や生徒に理解されている。(教職員)</p> <p>満足度目標指数 3.00 以上</p> <p>■ この学校は、人権侵害や差別を許さない教育、特にいじめの防止にしっかり取り組んでいる。</p> <p>■ この学校は、個々を認め、尊重しあえる雰囲気がある。</p> <p>満足度目標指数:3.00 以上</p>	<p>■立番、マナー週間などを通して校則(挨拶の励行、頭髪、服装、化粧など)の遵守につとめる。また、学級朝礼やホームルームを活用し、登下校中のマナー指導などを行う。</p> <p>1 年生の入学オリエンテーションでいじめに関するアンケートを実施。回答については、4 月中の人権学習の 1 回目でフィードバックしている。また各学年のテーマに基づく人権学習を複数回実施し、人権意識を日々高めていくことで目標達成を目指している。</p>	<p>■満足度指数 生徒 3.45 保護者 2.96 教職員 2.61</p> <p>■2軸評価 生徒 A 保護者 C 教職員 C</p> <p>■満足度指数 生徒 3.13 保護者 3.08 教職員 3.14</p> <p>■2軸評価 生徒 A 保護者 D 教職員 A</p> <p>■満足度指数 生徒 3.01 保護者 3.02 教職員 3.03</p> <p>■2軸評価 生徒 D 保護者 D 教職員 D</p>	<p>■生徒の満足度は高いが、保護者、教職員の満足度は決して高いとは言えない。多数の生徒は校則を守れているが、一部に守れない生徒がいることからこのような結果となったと考える。</p> <p>また、生徒と教職員間でのマナー面での常識の違いによるものが大きいのではないかと考える。今後も全校朝礼や立番、マナー週間や日頃の学級朝礼、ホームルームを通して規範意識を高める取り組みや、保護者との連携という観点から、新入生説明会、保護者会での校則の周知を図りたい。</p> <p>全項目において満足度は基準の 3.00 を上回っているものの、保護者に関しては、保護者全体平均と同じということで、2 軸評価が D となっている。学年別では 1 年保護者 3.0→2 年保護者 3.1→3 年保護者 3.1 となっている。本校における人権教育の取り組みについて発信できる場があれば、さらに理解が進むのではないかとと思われる。</p> <p>■この質問は、例年、満足度指数が低い。振り返ると、昨年度の生徒は、過去 3 年分の分析で 0.6→0.6→1.1 と飛躍的に指数が伸びた。今年度も満足度は基準の 3.0 を上回っている。保護者に関しては、0.8→0.8→0.9 と基準の 1.0 に到達していなかったところだが、今年は 3.01 と基準を上回ることができた。学年別でみると、1 年生 2.9→2 年生 3.0→3 年生 3.1 と学年を追うごとに満足度が高まっている。これは保護者の学校理解が年を追うごとに深まっていると同時に、子どもの高校生活が安定していることも関係関係があるのではないかと。</p> <p>一方、教職員の指数は、0.6→0.7→1.0 とこちらも昨年度、過去 3 年間で初めて基準の 1.0 に到達し、今年度も引き続き基準を上回ることが出来ている。</p> <p>とはいえ、学校全体の平均からは、まだまだ課題が残る状況であるという分析結果が出ているので、今後は研修会やアセスメントを効果的に活用しながら、個々を認め、尊重しあえる校内雰囲気を高めていけたらと考えている。</p>

	<p>(3) 基本的な生活習慣、社会的マナー及び保健衛生習慣の確立</p>	<p>■ この学校では、情報モラルを身に付け、通信端末を適切に活用できることを意図した学習活動が行われている。(生徒)(保護者)</p> <p>この学校では、情報モラルを身に付け、通信端末を適切に活用できることを意図した学習活動が行われている。(教職員)</p> <p>満足度目標指数:3.00 以上</p> <p>■ 私は、心身の健康(悩み)について担任の先生以外にも保健室で気軽に相談できる。(生徒)</p> <p>この学校は、子どもの心身の健康について、気軽に先生に相談できる。(保護者)</p> <p>この学校は、保健室を含めたカウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。(教職員)</p> <p>満足度目標指数 3.00 以上</p>	<p>iPad 導入年度に制定した iPad rules に則り、不適切な iPad の利用が見られる場合は指導するよう、教職員と意識を共有した。iPad rules 自体が適切なものであるか、見直しを行った。特に問題がないと考え、現行ルールをそのまま存置した。外部からの依頼を受け、情報モラルの生徒への浸透度合いを測るアンケートを実施した。</p> <p>■ 保健室利用や欠席状況を把握し、健康調査票と合わせ、担任と連絡を取り、早めの健康診断や保護者との連絡等、個々に合わせた対応をし、専門機関につなげている。入学時には中学での不登校や支援学級利用等も人権教育推進委員会と情報を共有し個々の対応に努めた。保護者会時の保健室利用や電話での保護者からの健康相談も対応した。職員からの健康相談を受け、産業医と連携をとっている。</p>	<p>■満足度指数 生徒 3.07 保護者 3.08 教職員 2.88</p> <p>■2軸評価 生徒 C 保護者 C 教職員 D</p> <p>■満足度指数 生徒 2.78 保護者 3.01 教職員 2.87</p> <p>■2軸評価 生徒 C 保護者 D 教職員 C</p>	<p>■教職員の満足度が低い理由としては、次のようなものが考えられる。「情報モラルに関わる生活指導上の問題を起こす生徒が増加している(盗撮・SNS への不適切な投稿など)」「生徒から送られてくるメッセージの送信時刻や内容が適切ではない」</p> <p>情報モラルの欠如による問題行動が大きく取り上げられるが増えている昨今、生徒の記憶に残り、問題となる行為の前に一度止まって考え直すことができるような指導、声かけが必要であると考えます。</p> <p>■心身の健康について、担任の先生以外にも保健室や相談室等で気軽に相談できるようにすることや、保護者には保健室や相談室だけでなく、電話でも気軽に相談できるような情報提供を行う。相談受付日等を設け相談しやすい情報の景況を今後検討する。心身が健康な高校生活が送れる様、様々な課題を検討する。</p>
<p>3 行事クラブ活動</p>	<p>(1) 学校行事やクラブ活動への積極的な参加の啓蒙</p>	<p>■この学校は、学校行事に積極的、主体的に取り組んでいる。(在校生)</p> <p>■この学校の行事は、充実していて生徒が積極的、主体的に様々な経験ができるように工夫されている。(保護者)</p> <p>■この学校は、学校行事を通して生徒が主体的、積極的に活動できるように支援している。(教職員)</p> <p>満足度目標指数 3.00 以上</p> <p>■この学校は、クラブ活動が盛んである。(生徒)(保護者)(教職員)</p> <p>■この学校のクラブ活動は、より多くの生徒が参加できるよう環境が整っている。(生徒)</p> <p>この学校のクラブ活動は、より多くの生徒が参加できるよう環境が整っている。(保護者)</p> <p>この学校のクラブ活動は、より多くの生徒が参加できるよう環境が整っている。(教員)</p> <p>満足度目標指数 3.00 以上</p>	<p>■学校行事への積極的な参加を促し、クラスのまとまりを育てる。</p> <p>■クラブ活動への加入を促進し、活発な学校生活を送らせる。</p> <p>■クラブ活動への加入を促進できるように環境整備。</p>	<p>■満足度指数 生徒 3.09 保護者 2.92 教職員 2.93</p> <p>■2軸評価 生徒 D 保護者 C 教職員 D</p> <p>■満足度指数 生徒 3.58 保護者 3.49 教職員 3.60</p> <p>■2軸評価 生徒 A 保護者 B 教職員 A</p> <p>■満足度指数 生徒 3.25 保護者 3.14 教職員 3.33</p> <p>■2軸評価 生徒 A 保護者 B 教職員 A</p>	<p>■コロナ禍の中で海外研修は中止となったが、校外学習、修学旅行、学園祭は実施できた。それでも満足度が低い。学園祭においては外部の人間を招待できないことや、生徒主導で決められる部分が限られているなどが原因である可能性が高い。生徒主導で出来ることと出来ないことをしっかりと見極めながら、昨年度よりも出来ることを少しでも増やせるように、生徒会役員の生徒と一緒に考え工夫することで、生徒や保護者の満足度を上げられるような取り組みを一つでも多く作る努力をする。</p> <p>クラブ活動においては例年一定満足の評価を得ているが、クラブ加入率が 50%超と低い状況である。毎年新たなクラブを作ってほしいという生徒の声もあり、入部できるクラブの選択肢を増やすことでクラブ加入率も増えていき、満足度も上がるのではないかと考えるが、簡単にはクラブを創設することが出来ない状況である。部員数の少ないクラブの活動内容を調査し、加入率が悪い原因を見つけることが大切である。</p> <p>■クラブ環境においては例年一定満足の評価を得ているが、施設の老朽化に伴う修繕等を行い、生徒が安全にクラブ活動ができる環境を維持していきたい。</p>

4 学校運営・施設	(1) 学校施設設備の充実	<p>■この学校では、ICTを活用した運営がなされている。(生徒)(保護者) この学校は、校務の情報化に取り組んでいる。(教職員)</p> <p>満足度目標指数 3.00 以上</p>	<p>■従来非常勤講師には教科の共用パソコンの利用が許されるのみであったが、非常勤講師を含め全教員に iPad を配布し、また希望する講師にはノートPCの貸出を期限を区切って行った。教育プラットフォーム Classi の利用について見直しを行ったところ、保護者連絡の機能以外は他の無料(あるいは既存)サービスで代替可能であることがわかったため、翌 2023 年度より使用をやめることとした。保護者連絡の機能は、他の有償サービスに乗り換えることとした。入試採点にはデジタル採点システムを部分的に導入し、正確を期すべき採点作業の効率化を図った。</p>	<p>■満足度指数 生徒 3.24 保護者 3.20 教職員 3.25</p> <p>■2軸評価 生徒 B 保護者 B 教職員 B</p>	<p>■ iPad の導入とコロナ禍での各種伝達方法の整備により、本校では ICT を利用した学校運営が積極的に行われているような印象を生徒・保護者・教職員とも持っている。現状ではある程度の情報化(ICT の活用)が行われているとはいえ、まだ改善が可能な業務も数多く存在する。校務 DX を文科省・経産省からも推進されている現在、各部署にデジタル化が可能な業務を打診するなどで、引き続き校務DXの実現に邁進していきたい。</p>
		<p>■この学校は、教育活動・クラブ活動のための施設・設備が充実し、美しく衛生的だ。</p> <p>満足度目標指数 3.00 以上</p>	<p>■老朽化した設備や備品を定期的に改修し、生徒が安全で安心のできる学校生活を送れるよう努めている。 コロナ禍による定期的な消毒作業など、継続して新型コロナウイルス感染症の対策を施している。</p>	<p>■満足度指数 生徒 3.33 保護者 3.44 教職員 3.58</p> <p>■2軸評価 生徒 A 保護者 A 教職員 A</p>	<p>■ICT 教育に必要な学習環境を整備してから 5 年が経過した。 ICT 設備リプレイスも視野に入れ、今後も高い教育効果が得られるように努める。 校舎が竣工 20 年を経過した。大規模改修工事(内装・照明など)の準備を進めたい</p>
		<p>■この学校は、学校ホームページで情報公開している。</p> <p>満足度目標指数 3.00 以上</p>	<p>■ホームページ、SNS を利用して、迅速かつ正確な情報発信に努めている。</p>	<p>■満足度指数 生徒 3.26 保護者 3.22 教職員 3.43</p> <p>■2軸評価 生徒 A 保護者 B 教職員 B</p>	

※満足度指数について

①とてもそう思う(4点) ②ややそう思う(3点) ③あまりそう思わない(2点) ④思わない(1点) で算出。

3.00以上で肯定的評価が多い設問。

※2軸評価について (重要度と満足度の2軸で評価。改善の優先度を表す。)

「A」引き続き満足度維持のための取り組みをすべき設問項目

「B」総合評価にあまり影響を与えないため、現状維持を目指す設問項目

「C」総合評価にあまり影響を与えないが、Dの次に取り組むべき設問項目

「D」最も改善優先度の高い設問項目